



SAP Ariba 

機能の概要

ワンタイムベンダ向けの注文書なし請求書

Johan Holm (ソリューションマネージャ)、SAP Ariba
Avinash Moodabidri (製品マネージャ)、SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 2 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: ワンタイムベンダ向けの注文書なし請求書

導入の難易度
対象エリア

● やや複雑
● グローバル

今までの課題

お客様は、頻繁に発生しない、1 回限りのサプライヤ請求書のために SAP ECC でベンダマスターレコードを作成することは避けたいと考えています。SAP ECC では、バイヤーはこのような請求書について、請求書の入力に使用可能なワンタイムベンダレコードを作成することができます。バイヤーがワンタイムベンダレコードを使用して入力する取引の大部分は、書面での注文書なし請求書です。

しかし、SAP Ariba ではワンタイムベンダレコードを使用した注文書なし請求書をサポートしていないため、SAP Ariba を使用してこのような請求書を照会および承認することができません。

対象ソリューション

SAP Ariba Buying and Invoicing

SAP Ariba で問題解決

お客様は、作成済みのサプライヤー一覧に含まれていないベンダからの請求書を入力して処理することができます。

たとえば、通常のサプライヤを利用できない場合にお客様が一時的なサプライヤを使用したり、マネージャが地元の洋菓子店からお祝い用のケーキを購入したりすることがあります。お客様は、このような購入について、新しいサプライヤレコードをマスターデータに追加することなく、注文書なし請求書を処理することができます。支払情報はすべて、請求書に直接保存されます。

さらに、新しいサプライヤレコードを作成せずに、このような方法で請求書を処理できる回数を制限する機能と、このような請求書についてレポートするための拡張されたレポート機能が用意されています。

関連情報

この機能を有効にするには、貴社の指定のサポート担当 (DSC) に連絡してサービスリクエスト (SR) を提出してください。

パラメータ名:

- Application.Invoicing.AllowOneTimeVendorInvoices

主なメリット

お客様は、SAP Ariba Buying and Invoicing で、ワンタイムベンダ用の注文書なし請求書を照会および承認することができるようになります。

前提条件と制限事項

- これは SAP と連携しているサイトでのみ利用可能な機能です。
- 注文書なし請求書のみがサポートされます。
- クレジットメモおよびデビットメモはサポートされません。
- この機能は、SAP Ariba Invoice Conversion Services ではサポートされません (ただし、Open ICS はサポートされます)。
- 一部の設定では、SAP Ariba Services のサポートが必要です。

機能の概要

概要: ワンタイムベンダ向けの注文書なし請求書

バイヤーは、ほとんど取引がないサプライヤについて、ベンダマスタにサプライヤを設定する負担を憂慮しています。このような場合、SAP ERP では、代替方法として、複数のベンダに対する取引の作成に使用可能なワンタイムベンダアカウントを作成しています。通常、バイヤーは、サプライヤを個々のマスタデータ(住所、銀行口座、支払条件、支払方法など)とともにベンダマスタに作成する必要があります。

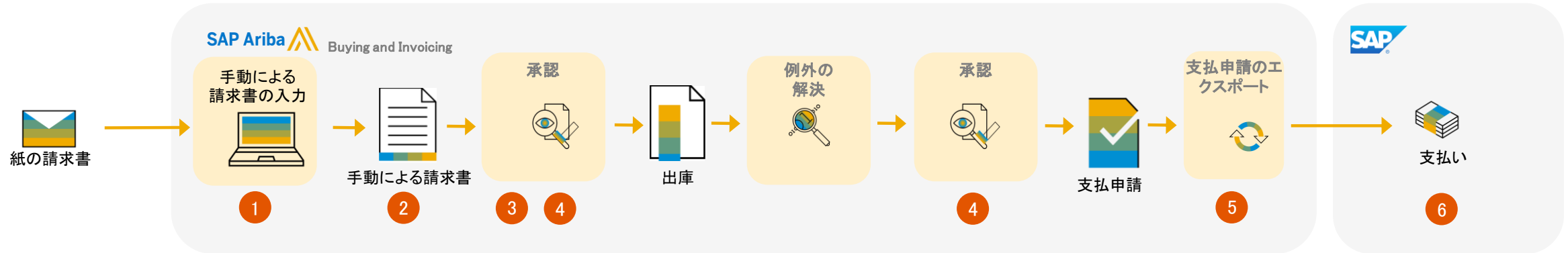
ワンタイムベンダは *SAP ERP* の概念です。

ワンタイムベンダのサポートにより、ワンタイムベンダを使用して複数のサプライヤに対する取引を作成できるため、バイヤーは、SAP ERP で、詳細なマスタデータを入力せずにワンタイムベンダアカウントを設定することができます。SAP Ariba Buying and Invoicing では、設定したワンタイムベンダアカウントを使用して、たとえば、社員旅行で使用したケータリングサービス、会社の祝典で使用した洋菓子店、会社の採用面接関連でかかった費用を支払った応募者などに関する請求書を作成することができます。また、ワンタイムベンダは、通常のサプライヤが商品やサービスを提供できないときに、商品やサービスを別のサプライヤに注文する場合にも使用することができます。



機能の概要

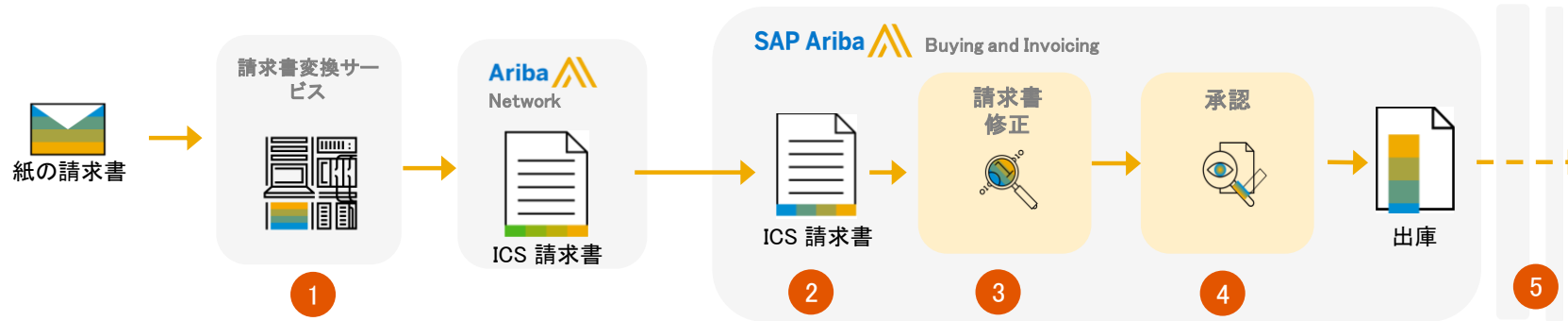
プロセス: ワンタイムベンダ向けの手動による注文書なし請求書



- ワンタイムベンダを使用する注文書なし請求書向けの新しいフィールドが導入されました。
 - ワンタイムベンダの種類を選択します。
 - サプライヤ詳細および支払情報を入力します。支払いに関する使用可能なフィールドは、SAP Ariba Services によって定義することができます。
- 一意のワンタイムベンダに対して作成できる請求書の数について定義されたしきい値がサプライヤに対する許容値を超えていないかチェックされます。
 - 一意のワンタイムベンダを構成する情報（サプライヤ VAT ID、IBAN など）は、SAP Ariba Services で設定することができます。
 - 一意のサプライヤの識別方法に基づいて検証が行われ、差異やサプライヤ名の綴り間違いがある場合にはエラーメッセージが発行されます。
- 職務分掌を設定できます。このため、最初の請求書処理担当者が入力できるのは、請求書とサプライヤの情報のみです。請求書は支払情報を入力する別の職務にルーティングされます。
 - 新しいグループ「ワンタイムベンダの請求書の支払情報の編集」に属するユーザーは、支払情報を編集することができます。
- ほかの請求書と同様、追加の承認を設定して、ワンタイムベンダ情報を考慮に入れることができます。
- ワンタイムベンダ向けの注文書なし請求書の支払ヘッダー CSV ファイルに、サプライヤおよび支払いに関する新しいフィールドが追加されました。
- SAP での支払いおよび請求書は、ワンタイムベンダレコードに対するものであり、サプライヤ詳細および支払情報とともに提供されます。送金と支払いの詳細が SAP Ariba に反映されます。

機能の概要

プロセス: ワンタイムベンダ向けの Open ICS 請求書



- ワンタイムベンダ請求書を示すフィールドと、Open ICS インターフェイスを使用する ICS 請求書のサプライヤ名のフィールドが、請求書 cXML に新たに追加されました。
- 手動で入力した請求書と同様、一意のワンタイムベンダに対して作成できる請求書の数について定義されたしきい値がサプライヤに対する許容値を超えていないかチェックされます。
 - 一意のワンタイムベンダの構成 (サプライヤ VAT ID、IBAN など) は、SAP Ariba Services で設定することができます。
 - 一意のサプライヤの識別方法に基づいてバリエーション/綴り間違いのサプライヤ名を取得し、エラーメッセージを発行する検証が行われます。
- エラーがある場合、ユーザーがエラーを修正することができます。
- ほかの請求書と同様、追加の承認を設定して、ワンタイムベンダ情報を考慮に入れることができます。
- プロセスの進行は、手動で入力した請求書の場合と同じです。

機能の概要

プロセス: 請求書の入力

請求書の担当者が、ワンタイムベンダ向けの注文書なし請求書として請求書を作成する必要があると判断した場合、請求書の担当者は、以下を実行する必要があります。

1. チェックボックス [ワンタイムベンダ] にチェックを付けます。
2. フィールド [ワンタイムベンダの種類] で使用するワンタイムベンダレコードを選択します。
3. サプライヤ名、出荷元、送金先、および支払いに関する情報を指定します。

機能:

- どのサプライヤフィールドがワンタイム請求書に必要/必須か、使用可能かなどは、SAP Ariba Services で設定することができます。
- 重複するサプライヤのチェック。次のスライドを参照してください。
- 職務分掌がサポートされており、「ワンタイムベンダの請求書の支払情報の編集」グループ (4) に属するユーザーが支払情報を編集することができます。
- ワンタイムベンダ請求書の固有の承認は、IsOneTimeVendorInvoice 属性を使用して設定することができます。

The screenshot shows the 'Header information a' form in SAP Ariba. It is divided into several sections:

- 1:** The 'Type' section, where the 'One-time Vendor' checkbox is selected.
- 2:** The 'One-time vendor type' dropdown menu, which is currently set to 'Catering'.
- 3:** The 'SUPPLIER INFORMATION' section, which includes fields for Supplier, Ship From (Country, Address 1-3, City, State, Zip Code), and Remit To (Country, Address 1-3, City, State, Zip Code).
- 4:** The 'PAYMENT INFORMATION' section, which includes fields for Payment Method (ACH Wire Transfer), Bank Account Type (Checking), Bank Account ID Type (Bank Account ID), Bank Account ID (000123456789), Bank ID Type (ABA Routing Number), ABA Routing number (123456789), and Bank Address (Country, Address 1-3, City, State, Zip Code).

機能の概要

機能: 請求書およびサプライヤのチェック

- 作成された請求書の数: 特定のサプライヤに対して作成された請求書の数制限をすることができます。
 - お客様は、SAP Ariba Services を介して、ワンタイムベンダのサプライヤに対する一意の識別子として展開する必要があるフィールドを定義することができます。一意の識別子には、銀行口座 ID、VAT ID、税 ID、カスタムフィールドがあります。一意の識別子間には or 条件が存在します。
注: 一意の識別子が展開されていない場合は、サプライヤ名を使用して、請求書のカウントされます。
 - 一意のサプライヤごとの請求書数は、SAP Ariba のワンタイムベンダレコードで定義されます。そこでユーザーは、注意またはエラーメッセージを表示する必要があるかどうかを定義することができます (下図 1 を参照)。
- サプライヤ名の綴り間違い/バリエーション: また、展開される一意の識別子は、サプライヤに対して入力された名前が、展開済みの一意の識別子で値が入力されているサプライヤの直近の請求書で使用した名前と異なることをバイヤーに警告するためにも使用されます。
 - たとえば、同じ銀行口座 ID を使用しているものの、サプライヤ名が、同じ銀行口座 ID を使用する直近の請求書に関して入力したサプライヤ名と異なる請求書が見つかった場合、ユーザーは、請求書のサプライヤ名を、検出された直近の請求書で使用されたサプライヤ名に変更することもできます (下図 2 を参照)。
- 重複する請求書番号: 展開される一意の識別子は、請求書番号の重複チェックに使用することもできます。

1

One-time vendor:

When maximum number of invoices is exceeded: Show warning Show error ⓘ

Invoices allowed per supplier:

2

⚠ You've entered the supplier name **Bills Bakery**. Our records indicate a match for **Bill's Bakery** instead. Confirm changes? [Accept changes](#) | [Don't accept](#)

INV28

Invoice Entry | Approval Flow

Header Information ^

Invoice Summary: \$0.00 USD Details

機能の概要

機能: SAP Ariba Analysis でのレポート

新たに導入されたファクトテーブル: ワンタイムベンダ

- 請求書ファクトテーブルには、通常の請求書のほかに、ワンタイムベンダ請求書も含まれます。ワンタイムベンダファクトテーブルと結合して、請求書ファクトテーブルにすでに含まれている連結済みの請求書の金額および件数とは分けて、ワンタイムベンダ請求書のコ額と件数を含めることができます。
- SAP Ariba Analysis では、選択した期間について、ワンタイムベンダの種類のコサプライヤごとに、請求書総数および集計された請求書金額を表示することができます。たとえば、2018年1月1日から今日までの期間について、ワンタイムベンダレコード「チャリティ」を使用して入力されたサプライヤの請求書総数と請求書総額を表示することができます。また、請求書総額などを基準に並べ替えることができます*。
- SAP Ariba Buying and Invoicing における請求書、IR 申請、および支払申請の検索では、サプライヤ選択リストにワンタイムベンダレコードと通常のサプライヤが含まれます。検索結果領域に、列「ワンタイムベンダ名」を追加することができます。この列には、ワンタイムベンダ請求書の「サプライヤ名」フィールドに含まれている値が表示されるため、特定のワンタイムベンダの種類に関連付けられているサプライヤごとに請求書を確認することができます。



機能の概要

制限事項

- i. ワンタイムベンダレコードとして使用される Ariba Network のサプライヤレコードは、Ariba Network ではワンタイムベンダレコードとしてマークされません。
- ii. 注文書なし請求書のみがサポートされます。
- iii. クレジットメモおよびデビットメモはサポートされません。
- iv. この機能では、バイヤーの独自の請求書変換サービス（別名: Open ICS）からの ICS 請求書がサポートされます。ただし、SAP Ariba Invoice Conversion Services ではサポートされません。
- v. ワンタイムベンダ請求書の一意の識別子を設定するには、SAP Ariba Services からのエンゲージメントが必要です。
- vi. フィールド [支払方法] の値に基づいて支払いに関するフィールドの表示/非表示を設定するには、SAP Ariba Services からのエンゲージメントが必要です。